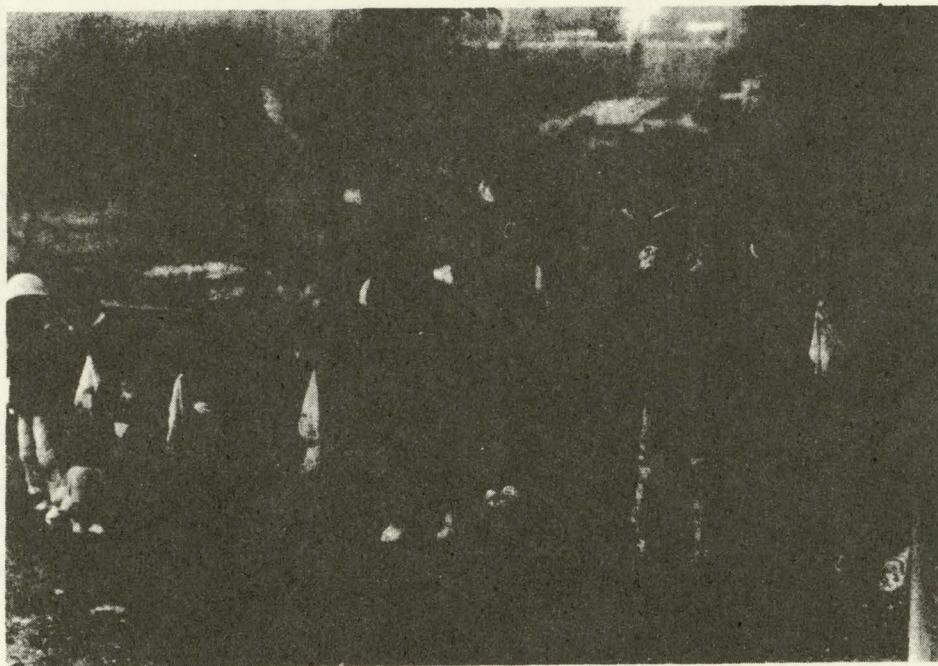


# とうえい



元気な明るい

お子さんに

五月五日は「こどもの日」

(本郷保育園にて)

季節のしおり

⑧ もうこれからは梅雨どきの一日か二日を除いて、秋ぐちまで寒いという日はありません。冬物の衣類はたっぷり日に当ててしまっておきましょう。手入れの終わった合着や厚手の冬服は元の箱にしまうのが普通ですが、新品とちがって一度水を通した衣類はどうしてもたたみわができるものです。これから次のシーズンまでの四、五ヵ月、場所ふさぎになりましようが、もし洋服ダンスに余裕があったら肩幅の寸法に合ったハンガーにかけておくほうがいいでしょう。

⑨ この月は野菜、果実、魚類が豊富な月です。まず、端午の節句につきものの竹の子、サヤエンドウのほかそら豆、新じゃが、グリーンアスパラ、セロリ、レタスなどくだものでは、イチゴ、ピワ、夏みかん。魚類では、カツオ、サワラ、生サケ、イサキなどがシユンとされています。このせつは冷凍設備が完備されているせいか、これらの品々でも年中手に入れやすくなっておりますが、やはり今が一番たべごろといえましよう。

⑩ 庭の片すみに池をつくって、金魚などを飼ったのしむのもこれからです。また、キュウリやトマトの苗などを買ってきて鉢植えしておけば、けつこう実のなることをたのしめます。

## 5月号

人口と世帯	
4月1日現在	
( )内は前年比	
人口	6,847人(-135)
男	3,258人(-60)
女	3,589人(-75)
世帯数	1,836戸(-13)

昭和五十年事業拝見

農道関係

三ツ瀬線など四路線を整備

昭和五十年事業は順調に消化されていますが、なかでも町が重点的施策として取り組んできた土木関係のうち、農道整備事業についてお知らせします。

団体営農道整備事業

◎農道—花丸線

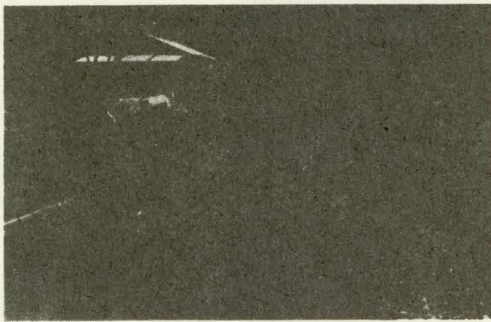
(改良・舗装)

この農道は、四十五年度から四十七年度まで山村振興営農事業で



農道—花丸線

大字月の中村地内から寺圃まで、四十八年度から四十九年度にかけては団体営農道整備事業で三沢地内から引田部落まで改良され、五十年度は延長二千二百四十九メートルを三十八万三千三百円の事業費で改

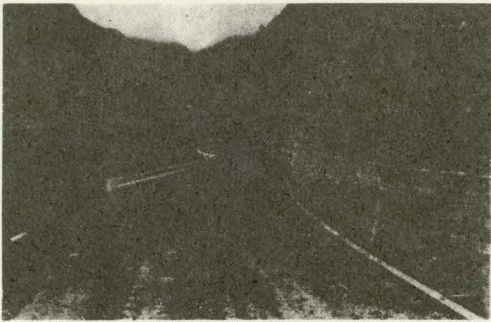


農道—三ツ瀬線

◎農道—三ツ瀬線

(改良・舗装)

本郷の中在家・三ツ瀬を経て明神山へ向うこの道路は、四十七年度から三カ年計画で改良工事が行



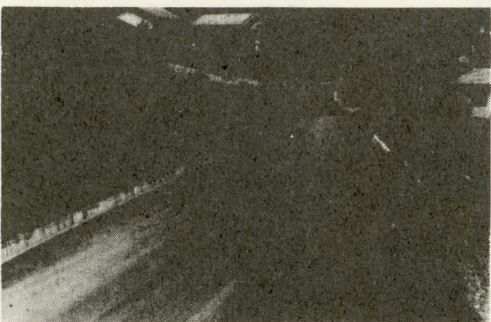
農道—向平線

◎農道—向平線

(改良)

なわれ、五十年度は延長千六百七十二メートル事業費二千九百九十二万八千円ですべて舗装されました。

町道—東園目小学校線より分岐して向平部落にかけて新設された道路で、四十六・四十七年度は振興山村特別開発事業、四十八年度からこんどの事業で施工され、五十年度は二百六十四メートル、事業費二千四百六十六千円で改良され、五十年年度から舗装工事に入ります。



農道—河内線

◎農道—河内線

舗装事業

舗装事業

国道一五一号線中奈根地内より分岐して河内部落に通じる道路で四十六年度から四十九年度まで団体営農道整備事業で改良工事が行われ、五十年度は延長七百五十三・八メートル、事業費七百二十七万二千円で舗装されました。なお、この農道は継続事業として五十一年度も実施されます。

おかあさんへ

母親教室 妊婦検診

◎日時 五月二十日(木)

午後一時半～二時半 母親教室

午後二時半～四時 妊婦検診

◎テーマ 「妊婦の生理と注意」

◎場所 産業会館保健室(二階)

◎対象者 東栄町内全妊婦

◎費用 無料

乳児検診開催

◎日時 五月二十七日(木)

午後一時～三時

◎場所 保健センター

◎対象 昭和五十年五月、七月、九月、十一月、昭和五十一年一月、三月生まれのお子さん

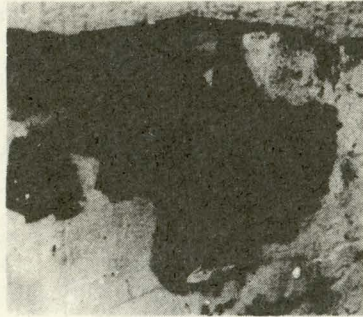
◎費用 無料

# 柴石峠に木の葉石続々

## 地質調査で「化石床」発見 自然学習の場として利用

東栄町の化石の天然記念物保護地区に指定している大字振草小林大平地区の柴石峠がありますが、このほど、その地質調査の試掘作業を行い、その結果、県下で初めてといわれる大規模な「化石床」が発見されました。

柴石峠は東栄町と設楽町の境で東栄町の保護地区は面積約三百三十平方メートル、三月八日から町教育委員会が注意しながら、幅約五メートル、長さ約十五メートル掘ったところ化石床の一部が現われ、約二、三千万



柴石峠で採掘された木の葉石

年前と推定されるナラ、シデなどの木の葉の化石がぞくぞく見つかり、その後、地表から約四メートル、長さ約五メートル、幅約二・五メートル、厚さ約一メートルの大規模な化石床（凝灰岩）が発見されました。町教委では、地質学研究の最も最適な所として地質調査の成功を喜んでいきます。

ところが、ここで心配されるのは盗掘で、現在、現場を荒らされないよう防止のサクを作ったり、住民に呼びかけたりして盗掘防止

## 国の重要無形民俗文化財に 「花祭り」が指定答申

無形文化財として十一月月上旬から翌年一月上旬にかけて町内十一

その日怪しい人物がどこから来たのか、庄屋の屋敷の辻下へ来たというので、年酒に元気のついた人たちが出て見た。怪しい人物はオロン沢窪へ入って行った。みんなは手に手に棒を持って後を追った。中には正月飾りの松の端材を引き抜いて行った者があった。やがて窪へ入った野地の所で追いついて、一言二言かけ合った末言いかたが悪いというので、だれかが端材でいきなりなぐりつけたところか、そのあたり所でも悪かったのかコロリと死んでしまった。それがエレン様だ。

いたし方なく死骸はその場へ埋めた。しかるに、その後村中、かの家の家へたたりがあつて、みなみな恐しくなつた。その上、正月に門松を立てると泣き呼ばれるような声がどこからとなく聞こえてくると言うので、ますます恐しくなり、以来三ツ瀬村四十二戸の百姓はお正月の松飾りを門に立てないことになり、今（三十七年頃）も三ツ瀬村本村十四戸はもちろん枝村の上小田辺も三ツ瀬方だった者は端材を立てず、香の葉を老して門松の印にするばかりになつたという。



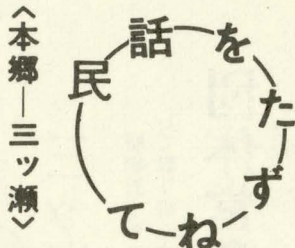
カ所で行われている「花祭り」が

に万全な対策をたてています。なお、採集した二百点余の化石は振草自然科学センターに展示し県内の小、中、高校生の野外学習を集めようです。

## 古木「枝垂桜」よみがえる 龍洞院の天然記念物 カンフル済効果てきめん

龍洞院（本郷）の枝垂桜は、昭和三十四年十月に県の天然記念物に指定されましたが、幹回り三・一メートル、地上二メートルほどのところから太い四枝が分かれ、本幹を入れ五本が幅曲していて枝張り東西二十メートルに達しなかなか壯観なものでありますが、最近、老齢化が目立ちこのままでは枯死してしまうというので、昨年の五月に県林務課の指導によりカンフル剤を幹に注入したところ、効能通り古木がよみがえり、ことしの枝垂桜は例年より花が多くみごとに咲きました。

重要無形民俗文化財として指定するよう文化庁の文化財保護審議会により文部省へ答申されました。花祭りは、遠く宝町・鎌倉時代に山伏や修験者によって奥三河に伝えられた「奇祭」であり四十種類もあります。〈舞〉と〈鬼〉は五穀豊穡、無病息災を祈る農民信仰のあらわれであつて、昭和二十七年に県から無形文化財として指定され、昭和四十年の東京オリンピックなどにも演出された全国でも有名な古典芸能です。町ではこの指定を機会に、「花祭り保存館」のような保存の拠点となるもの建設を進める方針であります。

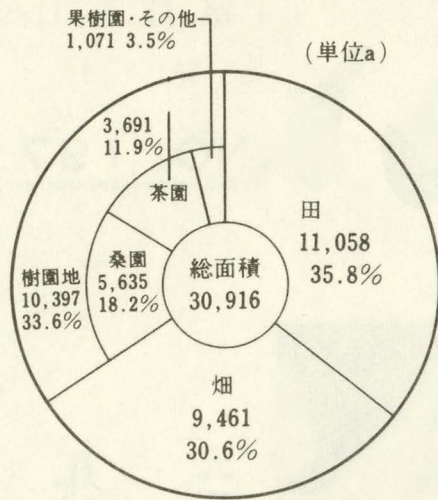


〈本郷—三ツ瀬〉

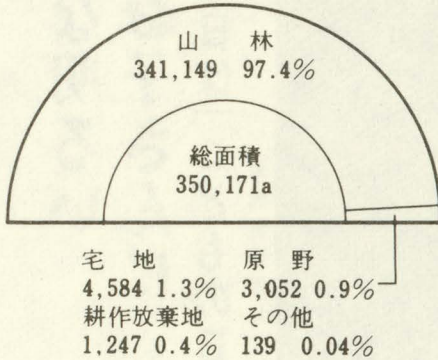
エレン様

昔いつの頃かわからぬ。お正月の二日に例年のように三ツ瀬村の百姓たちが年賀に庄屋へ集まった。

耕地利用別面積



耕地以外の土地面積



総面積309,171a  
経営耕地

畑が5年間に大幅減  
年々増えるプロイラー頭羽数

農産物

区分	収獲農家数	収面積	販売農家数
水稲	577戸	102ha	96戸
陸稲	46	1	0
小麦	79	3	14
大麦・はだか麦	36	2	8
ひえ・あわ	264	4	12
とうもろこし等			
ばれいしょ	824	7	1
だいず	509	7	26
あずき	429	4	6
たばこ	48	7	45
茶	456	33	132

畜産の飼養農家数と頭羽数

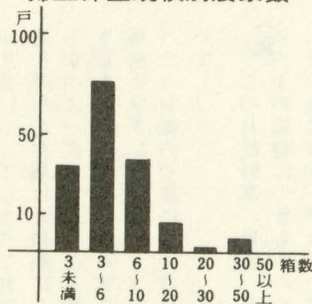
区分	農家数	頭羽数
肉牛	8戸	20羽
豚	19	568
にわとり	86	41,132
プロイラー	29	442,500

先月号におきまして、昭和五十年農業センサスの農家数とその人口についてお知らせしましたが、今月号ではその(二)としまして、経営耕地面積、農作物の収獲状況などを紹介します。

加藤きぬえ (総務課)  
平賀純子 (下川保育園)  
原田恵子 (本郷保育園)  
鈴木春枝 (本郷保育園長)  
鈴木春枝 (本郷保育園長)  
加藤きぬえ (総務課)

人事異動

掃卵量規模別農家数



農用機械所有台数

区分	動力耕うん機 農用トラクター	動力噴霧機	動力散粉機	動力田植機	
所有数	509 (21)	136 (10)	89 (13)	24 (6)	
区分	バインダー	米乾燥機	農用トラック	走行式動力防除機	自脱型コンバイン
所有数	31 (1)	9	33	1	2

(注)カッコ内共有台数

鈴木まつゑ (青年の家)  
植松悦子 (東栄病院)  
伊藤和子 (〃)  
伊藤竹男 (建設課管理係長)  
伊藤竹男 (住民課福祉係長)  
原田伸 (住民課福祉係長)  
尾林経夫 (保健課衛生係長)  
伊藤真裕 (保健課)  
伊藤真裕 (御殿保育園長兼東栄町保育園運営委員)  
竹内暉 (本郷保育園長兼主任)  
竹内保母 (御殿保育園主任保母)  
村松鈴代 (下川保育園長兼主任)  
伊藤保母 (本郷保育園主任保母)  
伊藤妙子 (三輪保育園長兼主任)  
伊藤保母 (三輪保育園主任保母)  
竹田正子 (御殿保育園主任保母)  
野村和子 (下川保育園主任保母)  
野村和子 (東栄病院)  
伊藤博夫 (東栄町保育園運営委員)  
桜井賢童 (〃)  
鈴木春枝 (〃)  
新任用  
長藤登 (御殿天文学センター)  
磯畑隆昭 (振草自然科学センター)  
堤中多美子 (御殿天文学センター)  
伊藤恭子 (本郷保育園)  
内藤雅子 (下川保育園)  
荒河真千子 (本郷保育園)  
阿部とみ江 (東栄病院看護婦)  
齊田記代 (東栄病院栄養士)  
横山春子 (東栄病院)  
森谷雅紀 (〃)  
石原正子 (〃)

# 本郷・下田地区へ給水開始 中央簡易水道事業 基本料金は月額七百五十円

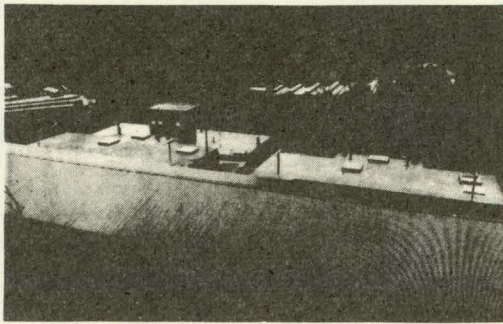
東栄町中央簡易水道は、町内の本郷、下田、川角および月、中設楽の一部におよぶ広範囲な地域に給水する計画で、昭和四十八年に着工し継続事業として施工してきましたが、昭和五十一年度工事の川角と月、中設楽地区の一部を除きその工事が完了しましたので、本郷、下田地区六六二戸（学校、事業所を含む）を対象にこの四月一日より給水を開始しました。中央簡易水道の水源は、中設楽千代姫荘付近の大千瀬川で水を十

五馬力のポンプ（二基）で標高三百六十メートルの中設楽浄水場（貯水量七百立方メートル）へ揚水し、四面のろ過池から沈でん池を経て滅菌、落差の水圧を利用して給水されています。現在までに費やした経費は、約三億二千万円という巨額なもので町としては大事業の一つであります。なお、五十一年度には約一億円が川角、中設楽、月地区への本管工事を行い、五十二年四月から

全戸に給水する予定です。今日に至るまでの間の建設委員各位のご尽力、一般住民のご協力関係当局のご理解に対し心よりお礼を申し上げますとともに、本年度工事施工についても格別のご協力をお願い申し上げます。

使用料金（一般家庭の場合）は次のとおりです。ご了承ください。よろしくお願いいたします。

- ◎基本料金 月額 七百五十円
- ◎超過料金 一立方メートルにつき 六十円
- ◎休止料金（使用できない状態にあつて届出をして使用しないもの） 月額 四百円
- ◎量水器のみ取付しているもの 月額 二百円



中設楽松久保に完成した  
中央簡易浄水場

## 本年度も無事故・無火災で！

### 町民のみなさん 消防活動にご協力を

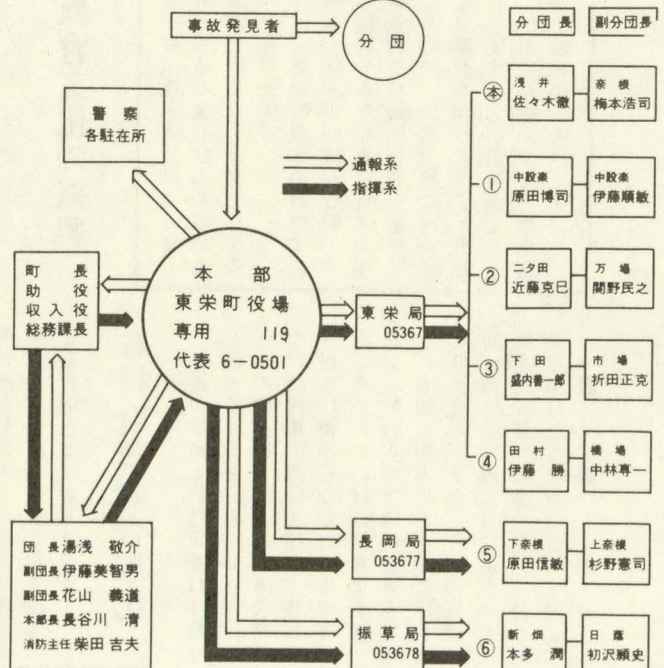
過疎町村の悩みであります人口の減少は消防人口の減少にもつながり、このため、昭和三十四年四月に町内十八分団を六分団に統合し、分団員数の配置と機械器具の均衡ある整備等の機構改革を実施いたしましたのでありますが、さらに、昭和四十五年四月から役場職員で消防在籍団員による本部分団を設置し、昼間初期消火に対する組織づくりをいたしましたのでありますが、別表にもありますように、団員の減少は今後一層深刻化して

まいりますので、これらの問題については種々検討を重ねてまいりたいと存じますが、町民のみなさんにも深いご理解とご協力をお願いいたします。幸い、昭和五十年度は、無事故無火災の金字塔をうちたてましたが、本年度も無事故無火災で終わりますようご協力ください。なお、別図にて災害発生時の連絡系統を示してありますので参考にしていただきたいと思います。

東栄町消防団分団別団員数 昭和51年4月1日現在

分団別	昭和50年度末 団員数	退団者数	入団者数	現団員数	備考
本 団	4			4	
第1分団	71	5	10	76	旧御殿村
第2分団	84	3	8	89	旧本郷町
第3分団	81	6	6	81	旧下川村
第4分団	36	1	3	38	旧園村
第5分団	63	15	6	54	旧三輪村
第6分団	73	8	0	65	旧振草村
本部分団	30	1	2	31	役 場
計	442	39	35	438	
昭和40年4月1日現在団員数				846	
昭和45年4月1日 "				522	
昭和50年4月1日 "				439	

消防団連絡等系統図



# 現況届は五月三十一日まで 国民年金の受給権者

国民年金の障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金の受給権者は、毎年五月三十一日までに「国民年金受給権者現況届」を役場に提出することになってい

ます。

この現況届は、年金の受給権者が引き続いて年金を受けるためには必ず提出しなければならぬとい

いせつな書類です。なお、昨年の六月一日以降に年金を受け始めた人、年金額が改定された人、支給停止が解除された人は、今回は提出する必要がありません。

○ 障害年金  
障害の状態についての診断書を提出するように県知事から指示されている人は、障害の程度に変化がないかどうかを確認するための診断書

○ 母子年金・準母子年金  
(1)受給権者と子との身分関係および生計を同じくしていることを明

このほど戸籍手数料が改正され五月一日から戸籍の謄・抄本の手料は、枚数に関係なく一通につき二百円になりました。

改訂される手数料のおもなものは別表のとおりです。

戸籍の謄・抄本等を郵便で請求される時は、必ず現金書留か郵便局の定額小為替で手数料を納め

## 戸籍手数料改正! 謄・抄本は1通200円

てください。特に、定額小為替は百円単位の送金に便利で、千円以下の送金の場合料金はわずか十円ですから手軽に利用できます。なお、郵便切手で手数料を納めるこ

区 分	手 数 料 額
戸籍の謄・抄本	一通 200円
除籍の謄・抄本	一通 200円
戸籍の記載	証明事項一件 200円
事項証明	証明事項一件 200円
除籍の記載	証明事項一件 200円
事項証明	証明事項一件 200円
受理証明書	一通 200円
上質紙使用の婚姻届等の受理証明書	一通 200円
戸籍簿の閲覧	戸籍一件 200円
除籍簿の閲覧	戸籍一件 200円
届書類の閲覧	書類一件 200円

### 戸籍の窓口

(三月受付分)

よろこび	出生児	保護者	住所
安藤ひとみ	哲男	下田	
鈴木久代	考雄	"	
塩沢真紀子	広人	"	
伊藤味里	吉一	振草	
かなしみ			
氏名年齢	世帯主	住所	
村本 嘉夫 54	敏美	三輪	
大久保真一 81	喜作	御園	

## ふるさと歌壇 互選首

〈三月詠草歌〉第一六九回

砂濱に座して語りし師の君の面影かなしありし日惚ぶ  
岡田 つぎ

ランドセル今日も持ち出し背負ひ居る入学を待つ曾孫いとしき  
岩倉 源三郎

去年の春夫が買ひ来し盆梅は形見となりて花咲き匂ふ  
渡辺 札子

雨晴れし今朝の沢辺は音高く若草こえて砂流れゆく  
佐々木 憲

山羊が好む青木葉背負ひ山をおりる赤石の嶺は赤く夕映ゆ  
金指 節子

松葉ほどの緑萌え出でしクロッカスにやさしく二月の雨ふりそそぐ  
梅田 トシ

沢ばたの日溜りぬくしふきのとう青く目だちて春思はする  
大野 むつみ

早春の晴れしひと日を惜しみつつ三ヶ根山の曲り道くだる  
原田 れい

花の香に酔ひて歩めば優しさの胸に湧ききぬ春浅き街  
石原 咲子

### 町婦人会協議会役員

安形 海造 70	なつ	本郷	広報委員沢井きく子 (中設業)
中道 優 25	佐太郎	"	〇以下地区婦人会会長
鈴木 らく 81	仙二	"	本郷—伊藤和子、下川—夏目利子
守屋 忠夫 76	富雄	下田	三輪—大杉みな子、御園—高橋和子、東園—西谷伸枝、西園—
			栃久保真、古戸—伊藤操、小林—片桐雅子
<b>町青年団協議会役員</b>			
(敬称略)			
敬称略、書記、会計、監査、広報委員は地区婦人会会長兼務)			
会長 石原 暎子 (月)	会長 伊藤 喜剛 (振草)		
副会長 伊藤 吉子 (下川)	副会長 森下 正 (三輪)		
書記 鈴木 光枝 (三輪)	書記 伊藤 憲男 (下川)		
書記 杉山 泰代 (月)	書記 伊藤 憲男 (下川)		
書記 荒河 梅子 (足込)	書記 伊藤 憲男 (振草)		
監査 内藤すみ子 (粟代)	事務局 西山 勝時 (御殿)		